



活動 1. 環境番組の制作・放送・DVD 配布の様子。画像左：番組告知チラシ・ポスター
画像右上・中・下：番組撮影中の記録



活動 2. 環境劇の上演。画像は 2020 年 10 月 31 日に赤磐市のドイツの森にて環境劇「JA 戦士シャイン」を上演した様子。

団体名 つやま演劇教育研究会	
代表者 桑守正範	記載者 桑守正範
所在地(市区町村名のみ)	津山市
活動目的 津山版COOL CHOICE宣言の周知・促進を図り、津山市が行う小型家電回収事業の利用者獲得および回収量の増加を目的とする。	
団体の紹介 「つやま演劇教育研究会」は岡山県津山市を拠点とし、教育を目的とする演劇ならびに番組製作を行うアマチュアの団体である。母体は1999年1月に発足したみゅーじかる劇団きんちやい座であるが、同団体が2005年から津山市と連携して取り組んでいた教育的内容を含んだ演劇部門を独立させる形で2016年1月に桑守正範、角野功一、薬師寺明子を発起人として発足した。 我々は志を同じくする同志と共に、次代を担う世代への教育を主たる目的として、豊かな人間性をはぐくみ、地域文化の理解発展普及に貢献する。	
助成を受けての活動内容 2020年度は県下において当初予定していた環境イベントの多くが中止となりましたが、今年度は今年度目的としていた小型家電回収事業のPRを行うためテレビ津山と連携し、小型家電回収事業のPRを目的とした番組「エコのいち3R」を5月31日に撮影、9月3日から1ヶ月にわたりテレビ津山において放送を行いました。撮影に先立っては地元の公民館で三密に配慮しながら2ヶ月にわたり練習を重ねました。練習の様子・撮影の様子はテレビ津山に取材され、放送されております。さらに放送終了後、番組はDVD化し、津山市教育委員会を介して津山市下の小中学校に配布し、教育効果の拡大を図りました。 一方、2020年度はコロナウイルス感染対策の観点から6月の親子エコフェスタなど当初予定していた環境啓蒙劇上演の場は軒並み中止となりましたが、国の緊急事態宣言解除後に赤磐市のドイツの森において10月31日に環境劇「JA戦士シャイン」を上演することが出来ました。観客は約50名ほどをしております。また、上映に先立ち、2ヶ月にわたって美作大学において練習を重ねました。 マルセンスポーツ・文化振興財団から助成を受けた旨はテレビ番組宣伝のためのポスターおよびチラシに掲載、さらに放送時のエンドロールに記載しました。また、放送後配布した番組DVDにもマルセンスポーツ・文化振興財団から助成を受けた旨を表記しております。	
助成を受けての成果 今年度の活動のうち、テレビ津山で放送、その後DVD化し津山市下の小中学校に配布したDVD配布により、浸透しているとは言いがたい「津山市COOL CHOICE宣言」の周知・理解が図れました。特に今年度は「津山市COOL CHOICE宣言」の重点5項目のうち、「1. COOL CHOICEを実践する人材の育成」に注力し、主に低年齢層とその保護者に対し、環境劇鑑賞、および環境番組鑑賞を通して津山市の行っている環境対策を周知・理解を深めることが出来ました。また、これまで津山市民に浸透しているとは言いがたかった津山市内の小型家電回収ボックスの設置場所を市民に対して広く知らしめ、回収量増加につなげることが出来ました。 一方で1回のみ公演となりましたが、10月31日に赤磐市で開催されたハロウィンナイトにおいて上演した環境劇では地産地消推進によるフードマイレージの圧縮と二酸化炭素削減に関する周知と理解を深めることが出来ました。	
今後の活動の課題点 演劇の上演においてはコロナウイルスを始めとし、感染拡大予防の配慮が重要になる。2020年度は環境イベントのほとんどが中止となったが、オンライン配信などイベントの有無に関わらず情報発信する手段を講じる必要がある。	
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) 708-0001岡山県津山市小原180-12 つやま演劇教育研究会 代表 桑守正範 0868-31-0319 kuwamori@mimasaka.ac.jp https://kinchaiza.wixsite.com/ecology	

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
 A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
 写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。